

平成29年9月14日
JR北海道釧路支社

「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、平成29年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体の御協力をいただき踏切事故の防止を図るため9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一踏切内に閉じ込められ、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや車の発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

1 実施期間

平成29年9月21日（木）から9月30日（土）までの10日間

2 実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・踏切・駅等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・主要駅及び列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問して呼びかけ
- ・小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ
- ・ラジオCMの放送
- ・帯広駅コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

3 実施計画

帯広地区	A号団地踏切	9月21日(木)	11:00~11:45
釧路地区	木工場踏切	9月29日(金)	10:30~11:00

<平成29年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は、6月留萌線で警報器・遮断機のない踏切で直前横断により列車との衝撃により死亡事故が発生しています。9月には、函館本線で踏切内に閉じ込められた普通乗用車と貨物列車が衝撃するという踏切障害事故が発生、9月上旬時点で2件で、平成28年度同時期と比べると2件の増加となっています。

このほかにも依然として悲惨な事故に繋がりがねない踏切の無理な通行が多数発生しており、列車の運転士が踏切に立ち往生している車を発見したり、非常ボタンを扱われたことを認め列車が急停止するなどとした件数が116件発生しました。また、警報機がなっている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ボールの折損も多数発生しています。

お問い合わせ先 釧路支社技術 TEL.0154-24-3105
釧路地区駅 TEL.0154-25-2461
帯広地区駅 TEL.0155-27-2179